

「安定期呼吸器疾患患者における運動機能および身体活動関連指標が歩数に与える影響」

洛和会音羽病院リハビリテーション部では、当院の外来呼吸リハビリテーションにご来院された患者さんを対象に以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

本研究は、呼吸器外来患者を対象に、運動機能・身体活動関連指標が与える日常の歩数と関連を明らかにすることを目的とする。身体機能の低下は、疾患の増悪や再入院リスク、死亡率といった予後不良因子との関連が報告されており、日本サルコペニア診療ガイドラインでも、筋力及び身体機能の維持がフレイル予防に重要とされている。（日本サルコペニア・フレイル学会、2017）

当院の外来呼吸リハビリテーションでは、歩数の「見える化」を通して患者さんが活動量を認識もらうために、万歩計へヘルスケアアプリを使用して、患者さんと一緒に歩数表を作成していく取り組みを導入しました。

しかし、同じ取り組みを行った外来患者さんの中でも、平均歩数が増加した群と平均歩数が増加しなかった群が存在した。

そこで本研究では、平均歩数増加群と非増加群を比較し、両群間で、運動機能・身体機能関連指標が与える平均歩数変化を明らかにするため、今回研究を行った。

【研究期間】 承認日 ～ 2026年 10月 25日(予定)

【個人情報保護の方法】

匿名化する。匿名化の方法は対応表を作成し、個人を直ちには識別できないような匿名化を行う。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

- ・利益: 患者さん自身には特別な利益はありませんが、この研究結果が呼吸リハビリの安全性や介入効果の向上に役立つ可能性があります。
- ・不利益: 本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコン、または鍵のついた保管庫で保管します。

保管する期間は、研究終了日から5年間または研究結果の報告日から3年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんに個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

住所：〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町 2

病院名・部署：洛和会音羽病院リハビリテーション部 研究責任者(担当者)：木村 なのは

電話番号：075(593)4111 e-mail kimura-nanoha@rakuwa.or.jp